

る。今後の具体的な方針

について伺いたい。

答弁 再生計画について5年間継続することを県、北秋田市とともに合意した。存続が決まったということではなく、再生計画を継続することで、残れるかどうかはこれから問題と捉えていく。

今後は地域の皆さんに

乗車していただくことが一つ、さらに外部の乗車数を増やすことの二本立てで取組む。仙北市、北秋田市の住民アンケートで乗車するに何が必要かを調査し、新たな対応を検討する。



乗車運動のすすめ方が課題となる内陸線

172万円は県内22番目の所得 農業再興で底上げを！



田口勝次

質問 仙北市民一人当たりの年間所得は、172万円と県内22番目の低さだ。どう考える。

答弁 生産額を労働人口で割った数値では、全県で11番目。サービス業は県内5〜6位

だ。問題は農林業で22番目である。農林業を再興することが必要だ。

市長が今任期中

質問 に克服すべき課題は何か。議会特別委員会への出席が少ない理由は。

答弁 「緩和と均衡ある発展」を最重要課題としている。特別委員会の情報提供は職員に出来るかと判断し、要請がない場合は出席しなかった。

質問 本庁舎建設については、市長の考えはまだ示されていない。議会全体の協議も一度もないがどう考える。

答弁 今年度末まで方向性は示す。市民の考えを聞き、その後議会の議論をお願いする。ワーキンググループ提案以外の可能性のある位置についても議論したい。

質問 仙北市の財政健全化は更に厳しさを増している。財政危機を切り抜ける政策は何か。

答弁 財政の健全化には自主財源を確保することが必要だ。市民

の所得向上が課題であり、雇用の場や産業振興を考えた政策に取り組む。

若い人達が働く

質問 には、「未満児保育の充実」が必要だ。今年も待機者が出ている。理由は保育士の確保だが、見直しが必要でないか。

答弁 未満児保育の希望は年々増えている。指摘された保育士の雇用条件だが、通勤手当の一部支給を決定した。

質問 経済不況対策を国の補正予算で準備しているが、企業や労働者を取り巻く環境は益々厳しい。市長の基本的な考えを聞きたい。また仙北市は正職員の採用など前倒しは考えないか。農業を雇用の場とする施策に、財政調整基金を財源とした取組は考えないか。

答弁 仙北市としては正職員の前倒しは考えず臨時的措置とする。農業振興については今ある制度支援をした

日程が公表され、仙北市長選挙だが、石黒市長の動向が注目される。意思表示はいつか。



次は市長選挙。顔ぶれが注目される

仙北市の不況、緊急雇用対策について 対策室を設置し取り組んでいる



高久昭二

質問 産業振興条例のつとり、固定資産税や借地等の免除、助成交付を行っている企業は何かあるか。

答弁 まだ任期が8ヶ月ある。白紙の状態と理解していただき、もう少し時間を貸して欲しい。

市独自の緊急雇用創出事業の一つとして、市の臨時嘱託職員の採用につ